

みなさん、こんにちは。

師走寒波の到来で明石公園のお堀にも薄い氷が張っていました。

1. 「直良さんの明石時代」 記念講演会

12月10日(土)国立歴史民俗博物館の春成秀爾教授による記念講演会がありました。春成先生が中学2年生のときに神戸新聞の「祖先のあしあと」という連載記事に目を留め、その中に直良さんの記事が出ていたそうです。以後、化石の魅力にとりつかれ、直良さんの本をたくさん読まれました。明石時代の話し以外にも、当時の考古学の状況や直良さんの探究心や好奇心の強さ、研究者としての姿勢についての話は興味深いものでした。



春成教授



会場で

講演会後半は参加者からの質問がたくさん飛び交い、20年前の発掘の様子や石器の見分け方、年代の測定の最新の成果などをわかりやすく説明されました。終了後は展示会場で資料を前に多くの考古学ファンと交流されていました。

発掘された明石の歴史展「直良信夫と明石」12月18日(日)まで

2. クリスマスロビーコンサート 癒しの音色が

12月11日(日)午前と午後の2回、昨年に引き続き「クリスマスロビーコンサート」を実施しました。ハンマーダルシマー、コンサーティナ、アイリッシュハーブやフルーツの奏でる音は訪れた方の心に心地よく響いたようです。特にブルガリア、クロアチアなどの東欧諸国の曲は不思議な旋律とリズム感がありました。演奏後は珍しい楽器を体験させもらい、「私もティンホイッスルを買って、習おう!」という方まで現れました。



トレフォイルのみなさん



即席の楽器体験教室

3. 「直衣」の着付けを練習しました

十二単と鎧兜の着付けボランティアグループが「直衣」の着付けにチャレンジしました。当館が開館したころに購入した「直衣(のうし)」の装束一式があったのですが、着付けできる職員がいなくなり、長らく活用されていませんでした。最近の小野市立好古館との交流から着付けを教えていただけることになり、講習を受けました。

当日は好古館の大村館長がモデルとなり、凛々しい姿の男性装束が完成。十二単とは着付

けの方法が全く異なり、帯の結び方や装束の整え方など、一度ではなかなか覚えられないようですが、来年早々には、「直衣」の着付けもご案内できると思います。ボランティアさんたちの頑張りが博物館を支えています。



モデルは小野市立好古館 大村館長

4. ワークショップ「クリスマスリース作り」参加者募集中

12月18日(日)13:30から博物館ボランティアワークショップグループによる「クリスマスリース作り」を実施します。木の蔓(つる)をぐいぐいまるめ、松ぼっくりやリボンなどの飾り付けをしていきます。



費用：500円

持ち物：軍手、自分で飾りたいもの

申し込み：電話受付中です(定員20名 小学3年生以上)

明石市立文化博物館

編集：永田浩史